



寺子屋運動に学ぶ 持続可能なコミュニティを 育む学びのヒント

2009年11月10日(火) 18:30~20:30
at 環境パートナーシップオフィス

世界寺子屋運動は、文字の読み書きができない子どもたちや大人が「学びの場=寺子屋」で読み書きや算数を学ぶように、教育の機会を提供する運動です。寺子屋も現地では地域学習センターと呼ばれ、識字教育のみならず、持続可能なコミュニティ開発の拠点、さらには平和構築のための相互理解の場へと多目的に機能しています。

今回のESDカフェでは、実際にカンボジアの寺子屋運営に関わる現地の方々を招き、地域を元気にする、自立したコミュニティに必要な学びの場について学びたいと思います。そこには日本の地域再生にも活かせるヒントがたくさんあります。



<今回のカフェ・ゲスト>

日本ユネスコ協会連盟カンボジア事務所

チョンクニア寺子屋 寺子屋運営委員長
日本ユネスコ協会連盟

ソティー・カンさん
バンタイ・クランさん
オム・ナリーさん
木村まり子さん



日時 : 2009年11月10日(月) 18:30~20:30
場所 : 環境パートナーシップオフィス EPO会議室
東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2F
参加費 : 会員・学生 500円、一般 1,500円 (当日入会可)
申し込み : 要申し込み、詳細は裏面をごらんください。
主催 : 持続可能な開発のための教育の10年推進会議 (ESD-J)
協力 : 地球環境パートナーシッププラザ
日本エコツーリズムセンター



寺子屋運動とは？

「すべての人に教育を(EFA=Education For All)」をスローガンに、日本ユネスコ協会連盟が1989年に始めた世界寺子屋運動は今年20周年を迎えました。この運動を通じてこれまで学んだ人の数はおよそ124万人。建てられた寺子屋の数は約500。民家などで行われた寺子屋教室の数をあわせると1万以上にのぼります。この20年間を振り返ってみると、支援展開は点から面に広がり、寺子屋も現地ではCLC(Community Learning Center=地域学習センター)と呼ばれるようになり、識字教育のみならず、持続可能なコミュニティ開発の拠点、さらには平和構築のための相互理解の場へと多目的に機能しています。

今回は、カンボジア・シェムリアップ州で展開している「アンコール寺子屋プロジェクト」に携わる方々をお招きし、どのようにCLCを地域に根付かせ、人びと、そして地域の自立発展を促しているのかをご紹介します。

詳しくはこちらへ <http://www.unesco.jp/contents/tera/>



チョンクニア村 水上寺子屋



寺子屋を担うリーダー研修の様子



ESDカフェとは

毎回ゲストの方をお招きしてESDにつながる「学びの場」や「地域の取り組み」を紹介していただき、ゲストと参加者でESD的な学びの場について、持続可能な社会について一緒に考え、語り合ひましょう。

ESDのことはよく知らない、これから学びたい、という方もどうぞお気軽にご参加ください。

フェアトレードの
お菓子とお茶を用意して
お待ちしております



参加申し込み方法

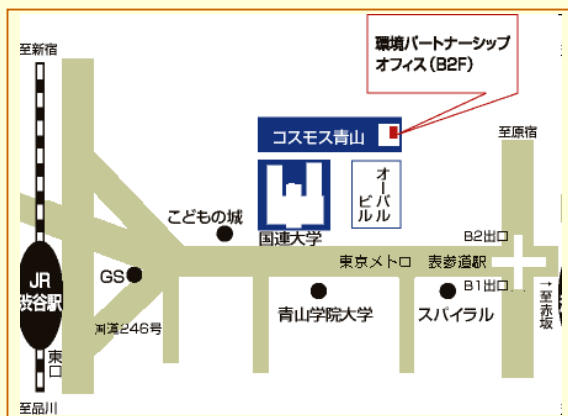
参加希望の方は、ESD-Jのウェブサイト、または下記アドレスまでメールにてお申し込みください。

<あて先> cafe@esd-j.org

<件名> 「ESDカフェ申し込み(寺子屋)」としてください

<記入内容>

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1) お名前 | 5) ひとこと自己紹介 |
| 2) ご所属(会社、団体、学校など) | 6) 当日期待すること、ゲストへの質問 |
| 3) メールアドレス(または電話番号) | 7) 今回の案内をどこでお知りになったか |
| 4) 会員区分(一般、ESD-J会員、学生) | |



会場へのアクセス

環境パートナーシップオフィス EPO会議室
渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2F

- 表参道駅(東京メトロ:銀座線・千代田線・半蔵門線)から
B2出口を出て、そのまま道沿いに直進し、約5分ほど歩くと国連大学の大きなビルが見えます。(B2出口より5分)
- 渋谷駅(JR・東急・京王井の頭線・東京メトロ)から
(このリンク先地図の宮益口)宮益坂方面に出て、りそな銀行とキムラヤの間の宮益坂をずっと登ります。頂上の“金王坂上”の五差路の交差点を直進し、子どもの城のすぐとなりにあります。(東横線改札より約10分)